

事業収支決算書

事業名	
名称	
代表者名	

【収入】

単位：円

区分	予算額	決算額	説明
自主財源①			
事業収入②			
市民団体活動支援補助金③			
合計			①+②+③（支出合計と同じ）

【支出】

単位：円

区分	予算額	決算額	補助金等対象経費の別		説明
			うち市補助金等対象経費		
合計					

【補助金上限額の算出】

市補助金等対象経費	A	
補助事業の収入額（②の額）	B	
A×90%（千円未満切捨て）	C	
A-B（千円未満切捨て）	D	
補助金上限額（C、D、7万円のうち、最も低い額）	E	

事業収支決算書

事業名	
名称	
代表者名	

【収入】

単位：円

区分	予算額	決算額	説明
自主財源①			
事業収入②			
市民団体活動支援補助金③			
合計			①+②+③（支出合計と同じ）

【支出】

単位：円

区分	予算額	決算額	補助金等対象経費の別		説明
			うち市補助金等対象経費		
合計					

【補助金上限額の算出】

市補助金等対象経費	A	
補助事業の収入額（②の額）	B	
A× %（千円未満切捨て）	C	
A-B（千円未満切捨て）	D	
補助金上限額（C、D、25万円のうち、最も低い額）	E	

## 事業収支決算書 記載例

第7号様式

事業収支決算書

①

事業名	〇〇事業
名称	団体名
代表者名	代表者名

【収入】 単位：円

区分	予算額	決算額	説明
自主財源①	72,000円	72,000円	会費(20人×300円×12ヶ月)
事業収入②			
市民団体活動支援補助金③	70,000円	70,000円	
合計	142,000円	142,000円	①+②+③ (支出合計と同じ)

【支出】 単位：円

区分	予算額	決算額	補助金等対象経費の別		説明
			うち市補助金等対象経費		
報償費	100,000円	100,000円	○	100,000円	外部講師謝礼金(20,000円×5回)
旅費	10,000円	8,000円	○	8,000円	外部講師旅費(1,600円×5回)
食糧費	12,000円	12,000円	○	10,000円	茶菓(外部講師10,000円、会員2,000円)
使用料	15,000円	14,800円	○	14,800円	〇〇センター会議室(7回利用)
消耗品	5,000円	4,000円	○	4,000円	
繰越金	0円	3,200円		0円	
合計	142,000円	142,000円		136,800円	A

【補助金上限額の算出】

市補助金等対象経費	A	136,800円
補助事業の収入額(②の額)	B	0円
A×90%(千円未満切捨て)	C	123,000円
A-B(千円未満切捨て)	D	136,000円
補助金上限額(C、D、7万円のうち、最も低い額)	E	70,000円

### ①事業名について

年度当初に申請した際の「事業計画書」に記載した事業名を記載してください。

### ②予算額について

年度当初に申請した際の「収支予算計画書」に記載した費目ごとに、当初の予算額を記入してください。

### ③決算額について

申請年度の4月1日から3月31日に行った事業の決算額(領収書金額の積み上げ額)を記載してください。

なお、決算額が予算額より下回る・もしくは上回る場合がありますが、実績値で記載してください。

### ④説明について

決算額の内訳についての説明を記載してください。

### ⑤補助金等対象経費の別について

費目のうち、補助金対象経費がある場合、「○」を記載してください。

### ⑥うち市補助金等対象経費について

決算額のうち、補助金対象となる経費の実績値を記載してください。

### ⑦補助金上限額の算出について

A～Eの金額を算出して記載してください。

A：⑥「うち市補助金対象経費」欄の合計

B：収入欄のうち「事業収入②」の実績合計額

C：A×0.9(発展型は0.8または0.5)の計算額(千円未満を切り捨てる)

D：A-Bの金額(千円未満を切り捨てる)

E：C、D、7万円(発展型は25万円)のうち、一番低い金額

※Eの金額が補助金の当初交付額を下回っている場合、差額を返金していただきます。